

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立循誘小学校	児童数	303人
-----	-----------	-----	------

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	～図書室よりたくさんの出会いをお届けします～
	取組期間	令和6年(2024年) 4月22日 ～ 令和6年(2024年) 11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	303人	実施日数	223日	読書冊数	39347冊	連携した団体数	2団体
	取組内容(概要)	<p>① 知識との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 循誘っ子50選の活用や、読み語り、テーマ展示、分類DAYを設け、蔵書の範囲と多様を知らせ、児童の関心をひきだし、読書の幅を広げる。 ・ 新たなイベントを開催し、児童の新しい気づきや発見につなげる。 ・ 学習に関連する資料を相互貸借で集め貸出し支援する。 <p>② 人との出会いやワクワクとの出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室のキャラクターを選定し活用する。 ・ 図書室のイベントや環境整備を通して、人と人とのつながりの場とする。 <p>③ 情報との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀市電子図書館の使い方を示し、良質な電子書籍を児童に示す。 						
工夫したこと	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年には教諭や司書が紙芝居や読み語りを行い本に親しませ、感性を養い、また月替わりで新刊、季節、時事、先生や図書委員のおすすめの本などを展示し、なにを読んだらよいかかわからない児童と本をつないだ。毎週金曜日はラッキー分類DAYとし、図書委員が特定の分類の内容がわかる放送をし、その分類の本や50選を借りるとポイントがたまるようにし、幅広い読書に取り組んだ。 ・ 外国文学の本がほとんど動かずに気になっていたところ、ちょうどオリンピックが開催された。外国に興味をもつ良いチャンスだと思い、どこの国のお話なのか本棚にわかりやすく表示をし、絵本に国旗をはり、コーナーを設け「本で世界を旅しよう」というミニイベントを行った。旅した国の数に応じて、オリンピックにちなんで、金・銀・銅メダル型のプラス貸出券をプレゼントした。世界地図も掲示しどこにその国があるのかをわかりやすくした。 ・ 「ぐりとぐら」の作者の中川李枝子さんがお亡くなりになられて、本を紹介するとともに、出版社から著作物利用許可を得て「ぐりとぐらのたまごのくるまになにのせる？」のお絵かきイベントを行った。その際、用紙には「著作物利用許可済」と児童の目につくように記入し、著作権に関心をもってもらうようにした。 ・ 授業で使用するリクエストされた資料はもちろんのこと、もしかしたら使用する 							

	<p>かもしれない資料も団体貸出や相互貸借等でお借りして、急なリクエストにも対応できるように学習支援を行った。</p> <p>② ・夏の図書館祭りで今年度の図書室キャラクターを募集しコンテストを行った。選ばれたキャラクターは、考案者から利用許可を得て、夏休みの読書の色めりや、しおりのデザイン、めりえなど幅広く活躍した。また、選ばれたキャラクターの1つに、「ギターを弾くと本のチョウチョが飛び出して読み語りをしてくれる〇〇マン」という当校教諭をモチーフにした作品があり、秋の図書館祭りでは、教諭がその〇〇マンになりきって、図書委員会とキャラクターのコラボお話をを行った。工作した皿回しの縁に切り紙で作成した本のチョウチョのモビールをつけて最初のギター演奏が始まると、図書委員が皿回しをし、本のチョウチョが飛んでいるようにみせ盛り上げた。</p> <p>・図書室の掲示物などは司書や司書補、図書委員主体で作成するだけでなく、他の児童と共に行うことにより、異学年の交流もでき人と人との出会いの場となるようにした。また、季節を感じることでできる図書室になるように心掛けた。</p> <p>③ ・6年生の図書の時間に図書室にタブレットをもってきて、佐賀市電子図書館の使い方を説明し、実際に利用してみた。その際、使い方をよりわかりやすくした資料を作成し配布した。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>本校は数年にわたり、本が子どもから離れないように心掛けており、読書が好きな児童が多く貸出冊数も多い状況である。そのような中、どうすれば児童がもっと成長できるのか？もっと楽しんでもらえるのか？図書室や本との出会いを通して新しい自分との出会いになってほしいと考えながら、本よりも児童をみることを心掛けて運営した。結果、多くの笑顔に出会えて嬉しかった。「本で世界を旅しよう」のイベントでは、「この国のお話だったんだ」とつぶやく児童が多くいたことが印象的だった。また、「アフリカの本を借りたい」と言ってきた児童がおり、ケニアの絵本が1冊あり手渡した。「アメリカはたくさんあるのに、アフリカの本は少ないね」と言うので「本そのものが少ないんだよ」という会話をした。今後児童が成長していく中で、社会が安定し経済的に豊かな国でないと、児童書を作ることは簡単ではないということにいつか気づいてくれたらと思いつつながら手渡した。また、佐賀市電子図書館を実際にみんなで使ってみるにより、敷居が低くなり利用増になればと思う。初めて電子図書館に入り、「かりていいの？」と喜ぶ児童、音声読み上げに驚く児童、紙芝居で英語と日本語を切り替えながら楽しむ児童がいて、新しい出会いになったと感じた。今後、さらに図鑑などの調べ学習用の資料が増え、なおかつ、複数人（クラス全員）で同時に読めるということができるようになれば、よりいっそう授業でも活用できると思う。最後に、図書委員会では現状のフィードバックを行い、よりよくなるようにアイデアをだしあった。何事にも意欲的に取り組んでくれた図書委員に感謝するとともに、委員会活動を通して個人の大きな成長をみることができたことも嬉しかった。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>「電子図書館の使い方」の学習は、4年生以上全クラスに行う予定である。今後も児童とのコミュニケーションを大切にし、読み語りやブックトーク、フロアワーク、図書室のイベントや展示を通して、読書の素地をつくり、児童がホッとできる空間、新しい出会いとなるような図書室の運営を心掛け児童の成長につなげたい。</p>

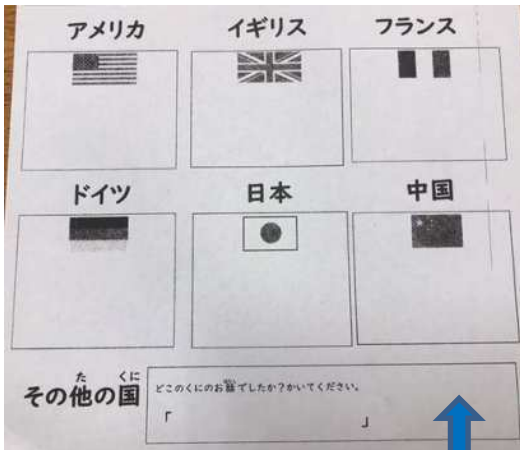
① 知識との出会い

「本で世界を旅しよう」のミニイベント

世界地図↓



○ は国旗シール

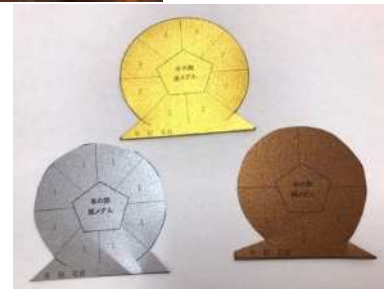


本を借りるとその国のマスにスタンプを押し、旅をしたこととする。7か国旅した人には金メダル、5か国旅した人には銀メダル、3か国旅した人には銅メダル型のプラス貸出券をプレゼント。スタンプの用紙にも国旗を表示したことで低学年の児童も容易に本を選ぶことができ、配布する用紙は白黒だったので、色違いの国旗があることに気づいた児童もあり、新たな発見となったようだ。

まず、どこの国のおはなしなのかを調べ、日本以外の絵本100冊以上に国旗を貼り、わかりやすく表示した。コーナーの本が少なくなると、つぎ足す方式で多くの児童が容易に借りることができるようにした。また本棚の上に923中国文学 933英米文学 943ドイツ文学と図書委員がわかりやすく掲示し、外国文学の存在感を示した。



円形の展示台を活かして裏側にもたくさん本を展示した。



イベント終了後、多くの児童が金メダル（プラス2冊8回分）銀メダル（プラス1冊8回分）銅メダル（プラス1冊4回分）を利用し本を借りている。

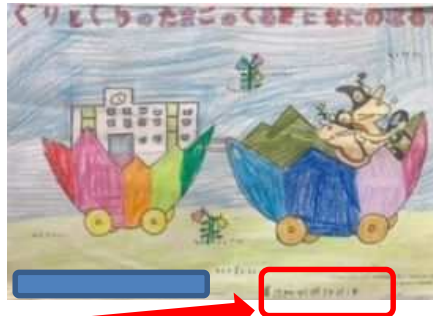


紫の用紙は50選、裏が分類スタンプ表となっている。

このイベントには学年を問わず多くの児童が参加してくれた。「おおきなかぶはロシアのお話だったんだー!」「バーバパパの本はフランスだったよ」「ドイツはグリム童話だったよ」と教えあっている児童もいて新しい気づきとなったようだ。高学年は、分類番号の真ん中の数字「903」により国が分かっていることに気づき、どこの国なのかを意識して借りていた。イベント終了後、3類の外国の暮らしの本や、国旗の本の貸出も増え、外国に興味をもつよい機会となり新しい出会いとなった。

「ぐりとぐらの」お絵かきイベント

多くの参加があり、図書室内だけではなく、図書室前にも掲示した。アイデアあふれる作品が多く、色とりどりの「ぐりとぐらのたまごのくるま」が校舎内を華やかにしてくれた。



用紙に「著作物利用許可済み」と記載することで「これなに？」と質問するなど、著作権に関心をもつ児童が増えた。高学年の児童は「どうやって許可を得るのですか？」と尋ねてきたので利用許可申請手順の説明を行った。

テーマ展示や掲示物 本を読んで感性アップ



★図書コラボ 給食★『ゆうすげ村の小さな旅館』
 今日のご飯は「ゆうすげ村の小さな旅館」から、みづきさんが作る、大根づくしの料理をまねしました。今日の大根づくしの給食を食べるとみなさんの耳もよくなるかもしれませんね。
 ぜひ図書館で借りて読んでみてくださいね！！

給食コラボを4回行い、本は相互貸借を利用し多くの児童が読書と食との出会いを楽しんだ。



本の帯

① 人との出会いやワクワクとの出会い



図書室入り口の紅葉



ハロウィンのモビールや本の旅の国旗、紅葉なども異学年の児童と共に制作



ペットボトルのラベルや葉っぱを使ったしおりを図書館祭りでくじびきの景品に！

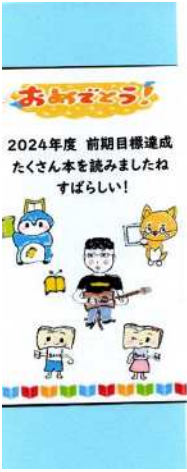
2024 循誘小図書館キャラクターの選定と活用



図書だよりのイラストや、夏休みの読書の色ぬりに活用。また、前期目標達成者全員にキャラクターしおりをプレゼントした。

夏休みのどくしょカレンダー

組 番号前		7月19日		20	
火	水	木	金	土	日
1 10分読んだ日に色をぬりましょう。			7月19日		20
			終業式		
23	24	25	26	27	
30	31	8月1日	2	3	



〇〇マンとのコラボお話会の開催



皿まわしのチョウチョが難しかったがうまくいった。



図書委員会が演出、司会を行い、キャラクターの〇〇マンをゲストとして迎える形で行い盛りあがった。本の読み語りに加え、ギター演奏&図書館の様子替え歌あり、「焼きいもグーチャーパー」の手遊び歌ありの楽しい会となった。閉会後は1年生が「サインくださーい♡」と〇〇マンの周り集まり、とても微笑ましかった。

② 情報との出会い 佐賀市電子図書館の使用



↑左側に本のジャンルがあるのでそこから入って本を探すことができます。また、かりすることもできる。試し読みもできる本もある。

読み放題をクリックすると借りることはできないが本を読むことができます。同時に複数人利用OK

6年生に佐賀市電子図書館の使い方を説明し、実際に使用しているところ。公式の「佐賀市電子図書館利用案内」とあわせて、簡単な使い方のプリントも作成し配布。まずは紙の資料で読書の素地を養うことが大切だと考えてはいるが、今後多いに活用して自身の成長につなげてほしい。